

平成21年11月4日

各位

上場会社名 内外トランスライン株式会社
 代表者 代表取締役社長 戸田 徹
 (コード番号 9384)
 問合せ先責任者 執行役員総務部長 三根 英樹
 (TEL 06-6260-4800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,344	1,090	1,150	710	290.33
今回発表予想(B)	8,780	656	822	466	190.55
増減額(B-A)	△1,564	△434	△328	△244	
増減率(%)	△15.1	△39.8	△28.5	△34.4	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	11,910	1,101	1,098	624	266.27

平成21年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,750	790	830	470	192.19
今回発表予想(B)	7,110	449	611	313	127.99
増減額(B-A)	△1,640	△341	△219	△157	
増減率(%)	△18.7	△43.2	△26.4	△33.4	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	10,167	831	835	371	158.62

修正の理由

平成21年8月7日に開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」において、先行き不透明な要素が多いことから、通期業績予想については据え置いておりました。中国をはじめとする各国の景気刺激策が種々実施され、これらに在庫調整の進捗等が相俟って、各国の企業収益や雇用情勢がかなり急速に改善していく中において、国際海上輸送についても活発化が進んでいく可能性が低いものと予想した故であります。

しかしながら、世界的な信用収縮の悪影響が依然として残る中、国際海上輸送の動向には緩やかな回復の方向性が見られるようになったものの、先進国を中心とする需要低減が続いていることから、その回復状況は必ずしも力強いものとは申せません。第4四半期におきましてもこの回復傾向が続くものと思われませんが、市場環境の急速な好転を展望するには至っておりません。

また競争激化に伴い運賃単価が低迷する状況を打開すべく、内外の海運各社は船舶供給調整等により市況の回復に努めておりますことから、早晩運賃単価が回復していくものと予想しておりますが、その回復度合いにつきましてもいまだ不透明であることから、今期収益の見通しに算入することは早計と判断しております。

この外部環境下におきまして、国内におきましては「首都圏営業の強化」及び「輸入営業の強化」に注力し、さらには船舶代理店業への進出も決定いたしました。海外におきましては「拠点の拡充」、「米国における通関業務の開始」などの施策を行っております。

原価低減並びに販管費削減には引き続き注力いたしておりますが、これらの外部要因を考慮いたしました結果、連結・個別とも通期で減収減益となる見通しとなることから、当初の通期業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、配当金につきましては、期初の予定どおり1株当たり年間配当金40円とする予定であります。

以上